



←土中にある菌類を栄養素として育つキンラン。いまや絶滅危惧種になっている貴重な花。

→幼稚園児が遠足にやって来た。とたんに江戸川がにぎやかになった。

いよいよゴールデンウィークだ。緑の日、憲法記念日、子どもの日と三つの休日のあいだに土日ははいつて、有休を使えば九連休になるといっているので海外に出かける人たちも多い。

そんななか、韓国旅行をする人のなかには、もし北朝鮮の攻撃があったら大変だなどと心配する人もいるとか。だったら韓国へなど行かなければいいのと思うが、それでも出かけていくからすごい。

そんなことをいつても、多くの人が海外旅行に出かける。いっぽう、矢切の渡しでは毎年恒例の船橋市にある健伸幼稚園のファミリーデーが開かれ園児とその家族たち三〇〇人ちかくがやって来た。

四月二十九日は、ひとあし早い子どももの日のようなだった。まいどのことだが、矢切の渡しのマスコット犬のクマは、この日ばかりは売店の奥のベンチの下にもぐり込んでしまつて、出てこようとはしない。

なぜか、理由はよくわからないが身長の高い子どもとは目の高さが近いか

今週のクマ

→ソーセージをくれる人がやって来るとクマは笑い顔になる。



→葉緑素をもたない寄生植物。シロツメクサから栄養素をもらって繁殖している。牧草とともに外国から日本にはいつてきた。年ごとに数がふえている。



からか、苦手のようなだ。

子どもたちもクマが自分たちの体験している犬の姿とは違うので、よけいに近づいてさわろうとする。それがクマにしては、わずらわしいのだろうか？

子どもが珍しがってさわろうとするのもわからないではないが、大人たちもほとんどの人が、クマを見ると「あら、かわいい」とか、「太りすぎじゃないの」とかいつて写真を撮ろうとする。

すると、なぜかクマは、プイツと顔をそむけてしまう。ところが、いまはやりスマホで写真を撮ろうとすると、なぜか顔をそむけない。

これは私の想像だが、クマにとってカメラのレンズは恐ろしいものに見えているのではないだろうか？ スマホのようにレンズがどこにあるか見えにくいものなら恐ろしくないのだろう。

そんなわけで、愛想をふりまいてほしいときに隠れてしまうクマがおかしい。それと、クマの感心するところは、売店で売っている一〇〇円のソーセージをくれる人を覚えていて、その人が来ると嬉しそうに鳴きながら迎えるのだ。今日も朝からソーセージにありついた。